

山剣連第 89号  
令和3年6月21日

各地区剣道連盟会長 様

(一財) 山口県剣道連盟  
会長 中西 章  
[公印省略]

剣道四段・五段及び居合道五段以下審査会の実施について

本年度の事業計画に基づき、標記審査会を別紙要項のとおり実施いたします。  
つきましては、剣連会員に周知徹底され、申し込み手続きをお願いいたします。  
また、受審者以外の会場への入場を禁止いたします。

## 剣道四段・五段、居合道五段以下審査会実施要項

### 1 期 日

#### (1) 剣道四・五段審査会

8月9日(月・祝)午前10時から

(受付時間 午前9時10分～同40分まで)

#### (2) 居合道五段以下審査会

8月9日(月・祝)午後1時30分から

(受付時間 午後0時30分～同1時00分まで)

### 2 場 所

維新百年記念公園維新大晃アリーナ「武道館」

### 3 審査方法・科目

#### (1) 審査方法

全日本剣道連盟称号・段位審査規則及び(一財)山口県剣道連盟剣道・居合道・杖道称号段位審査規程による。

#### (2) 審査科目

##### ① 剣道四・五段審査会

実技、日本剣道形、学科(B4版原稿用紙に記載したレポートを受付時に提出)

##### ② 居合道五段以下審査会

実技、学科(B4版原稿用紙に記載したレポートを受付時に提出)

※学科試験の問題は、別紙「令和3年度昇段審査等学科試験問題」のとおりであり、問題下方に記載した注意事項を厳守してください。

※社会体育指導者資格初級の認定を受けた者については、五段の学科審査を免除するものとする。(剣道に限る。)

### 4 受審資格

山口県剣道連盟地区剣道連盟会員であること。

### 5 必要経費

#### (1) 受審料

初段 3,520円、二段 4,950円、三段 6,050円

四段 7,150円、五段 8,250円

#### (2) 昇段・登録料(合格者)

初段 13,210円、二段 11,240円、三段:15,430円

四段 16,620円、五段 22,010円

(合格者に振込用紙をお渡しますので、1週間以内に振り込んで下さい。  
※振込手数料は、個人負担です。)

## 6 受審申込み

### (1) 申込期限

7月30日(金) ※期限を厳守のこと。

### (2) 受審者は、受審申込書(剣連ホームページ様式集「No4 審査会申込書(剣・居・杖五段以下)を使用」並びに受審料を添えて地区剣道連盟事務担当者に提出してください。

### (3) 地区剣道連盟事務担当者は、申込書、受審料をとりまとめ県剣道連盟事務局に送付してください。

〒753-0083 山口市後河原237-1 警察体育館別館内  
(一財)山口県剣道連盟 宛

なお、受審料については、下記口座に郵便振替にて送金してください。  
(期限を厳守して下さい。)

口座番号 01550-3-3820

加入者名 (一財)山口県剣道連盟

## 7 安全対策

### (1) 新型コロナウイルス対策

参加者は、新型コロナウイルス感染防止のため、下記事項を厳守すること。

#### ① 剣道受審者は、面マスク(口・鼻を覆うもの)及び面にはマウスシールドを確実に着用すること。面を着装しない場合は、不織布マスク等を確実に着用すること。

居合道受審者は、面マスク(口・鼻を覆うもの)又は不織布マスク等を確実に着用すること。

#### ② 「参加者チェック表」(剣連ホームページ様式集「No1 参加者チェック表」を使用)に、氏名、住所、電話番号、当日測定した体温等の必要事項を記載、確認事項のチェックを行い、受付時に提出すること。

なお、「参加見合わせ事項」に該当する又はその疑いがある場合は、参加を見合わせる。

#### ③ 県外で感染が拡大している都道府県に居住する参加者は、開催日の2週間前から県内に滞在するなど感染防止対策を徹底すること。

#### ④ 県内に居住する参加者は、開催日の2週間前から県外への旅行等を中止するなど感染防止対策を徹底すること。

### (2) 一般的安全対策

参加者は、各自十分健康管理に留意してください。

予選会において傷害等が発生した場合は、主催者において応急措置を講

じ、病院等で治療を受けられるよう手配する。この場合の治療費は個人負担とする。

なお、主催者は参加者に対し傷害保険に加入（会場への往復途上は含まない。）する。※入院：日額5,000円 通院：日額3,000円

(3) 参加者は健康保険証を持参のこと。

## 8 個人情報保護法の対応

申込書に記載される個人情報は、山口県剣道連盟が実施する本審査会の運営及びホームページへの掲載のため利用する。

令和3年度昇段審査等学科試験問題

剣道

段別	問	題
初段	1 問	剣道での「かけ声」について述べなさい。
	2 問	剣道における「三とおりの礼」について説明しなさい。
二段	1 問	「五つの構え」について説明しなさい。
	2 問	「四つの足さばき」を説明しなさい。
三段	1 問	「間合い」について述べなさい。
	2 問	「打ち込み稽古」と「かかり稽古」の違いについて述べなさい。
四段	1 問	日本剣道形の必要性について述べなさい。
	2 問	「しかけ技」と「応じ技」の違いについて述べなさい。
五段	1 問	日本剣道形稽古上の注意点を箇条書きで4つ以上記せ。
	2 問	「すり上げ技」と「返し技」の違いについて述べなさい。
A 級 公認審判	1 問	審判員の位置どりについて述べなさい。
	2 問	「有効打突の要件・要素」について説明しなさい。
B・C級 公認審判	1 問	「審判員としての心構え」の一般的要件と留意事項について述べなさい。
	2 問	「鏝ぜり合いでの膠着(こうちゃく)状態」とはどのような事か説明しなさい。

居合道

段別	問	題
初段	1 問	あなたが居合道を始めた理由を述べなさい。
	2 問	全剣連居合一本目「前」について注意することを述べなさい。
二段	1 問	あなたの居合道修行の心構えと、安全について述べなさい。
	2 問	全剣連居合三本目「受け流し」の要義を記し、注意している点を述べなさい。
三段	1 問	あなたが居合道修行を続けて良かったと思うことを項目を上げて説明しなさい。
	2 問	全剣連居合四本目「柄当て」の要義を記し、注意している点を述べなさい。
四段	1 問	居合道指導者としての心構えを述べなさい。
	2 問	全剣連居合五本目「袈裟切り」の要義を記し、指導上注意する点を述べなさい。
五段	1 問	居合道指導上の要点を五つ挙げ説明しなさい。
	2 問	全剣連居合七本目「三方切り」の要義を記し、指導上注意する点を述べなさい。

杖道

段別	問	題
初段	1 問	杖を始めた理由について述べなさい。
	2 問	杖道の構えについて述べなさい。
二段	1 問	杖道の修行で得るものについて述べなさい。
	2 問	太刀の構えについて述べなさい。
三段	1 問	道場における礼について述べなさい。
	2 問	形の重要性和その効果について述べなさい。
四・五段	1 問	広島県で受審、受審者で問い合わせして下さい。
	2 問	

学科試験は、剣道については日本剣道形、居合道・杖道、審判法については実技の合格者を対象に実施しますが、審査受付時に答案用紙を提出して下さい。

注意

- 答案用紙は「**B4版原稿用紙**」を使用し、問題毎に原稿用紙1枚(200字以上400字未満)に**自筆**で記入して下さい。
  - ※ 「**B4版原稿用紙**」を使用していない答案用紙が散見されます。必ず「**B4版原稿用紙**」を使用して下さい。
- 答案用紙には1行目の書き出しに「**受審段位等**」、やや空けて「**氏名**」、2行目に「**問題番号**」を記入し、3行目から回答を記入して下さい。
  - ※ 受験番号～受付係が記入するので、記入の必要無し。
  - ※ 「**受審段位等**」・「**氏名**」・「**問題番号**」の記入漏れの無いよう注意して下さい。